

# 専門性の高い治療提供を目指して 充実の脳神経外科専門外来

健和会大手町病院の脳神経外科では、脳卒中や頭部外傷の症例を中心に、急性期治療を行っています。

より専門性の高い治療を行えるように、2014年から山口大学医学部附属病院の「脳神経外科専門医」の協力により、専門外来を増設し、急性期治療において総合的かつ専門的な知識と診療技術により、ニーズに合わせた治療を行っています。

山口大学脳神経外科教室の鈴木倫保教授にお話を伺いました。



山口大学脳神経外科教室教授  
健和会大手町病院脳神経外科  
脳動脈瘤専門外科

**鈴木 倫保** 教授

## 先進的な専門医療のご提供

山口大学脳神経外科は、以前から健和会大手町病院の脳神経外科外来を担当させていただいてきました。実績を積み重ねていく中で患者さんも増えてきており、大手町病院の要である急性期医療においても、より専門性の高い医療を提供していく必要性を感じてきました。

大学には多くの専門家と専門医・技術認定医・技師（脳神経外科専門医・指導医、脳卒中専門医、脳神経血管内治療指導医・認定医、てんかん専門医、定位機能神経外科技術認定医、神経内視鏡技術認定医、救急専門医、認知症専門医、頭痛専門医、高気圧酸素治療専門医、脳神経超音波検査士、神経生理学会脳波認定技師等）がおりますので、その知識と技術を集約し、専門外来として特徴的な医療を提供できればと考えています。

地域の患者さんの安心・安全のためにお役に立つことを願い、一方では私たち専門医も多くの患者さんを診させて頂き勉強したいと思います。

## ネットワークを駆使したチーム医療

専門外来だけでなく、困難な手術の際は大学から術者・助手・脳の機能を監視するモニタリング担当スタッフを呼んでチーム医療で対応しています。今春から始まる新たな取り組みとしては、患者さんの脳画像を山口大学と複数の病院で共有し、治療法や患者転送の検討を行うシステムを導入し、大手町病院も参加して頂く事になりました。これまでよりも病院間での画像共有が迅速に行え、効率的でより質の高い医療の提供につながります。複数の専門家の目と経験を情報のネットワークを駆使して一人の患者さんを診ることが、安心・安全な医療を提供するためには重要です。



## 気軽に利用できる環境づくり

脳神経外科分野の技術の進歩は目覚ましく、昔では当たり前だった開頭をせずに、カテーテルを用いる血管内手術が普及してきました。また、小さな頭蓋骨の穴から内視鏡を入れて手術も出来るようになりました。さらに、手足のふるえ、しびれや腰痛などには、脳や脊髄を電気で刺激して完治させる治療法もあります。

大学の専門医療というと敷居が高いと感じる患者さんもおられるかもしれませんが、地域に根ざした健和会大手町病院で専門外来の機会を頂いていますので、患者さん、近隣医療機関の皆さまには、お気軽に当専門外来を利用していただきたいと思います。私たちも皆さまとのよりよい関係づくりを基本として医療の提供に努めていきたいと思ひます。

私たち脳神経外科医は単純な精神構造を持っており、皆さまから頼られれば頼られるほど「よし、頑張ろう」という気持ちになります。今後とも皆様の熱いご支援よろしくお願ひします。

## 脳神経外科専門外来(2014年1月～)

- 脳動脈瘤専門外来(鈴木 倫保教授).....月1回/木曜日
- 脳血管内手術・脳卒中専門外来(石原 秀行医師).....月1回/第1土曜日 午前
- 頭部外傷専門外来(末廣 栄一医師).....毎週木曜日 午前
- 小児脳神経外科専門外来(野村 貞宏医師).....月1回/木曜日 午後

### 【既存専門外来】

- 脳腫瘍専門外来(出口 誠医師).....月1回/土曜日 午後
- 頭痛専門外来(米田 浩医師).....毎週水曜日 午後
- てんかん・パーキンソン・痛み専門外来(井本 浩哉医師)・・・第1・3月曜日午後 月1回/土曜日 午後
- 脊髄・脊椎・末梢神経専門外来(五島 久陽医師)月1回/第3木曜日 午後

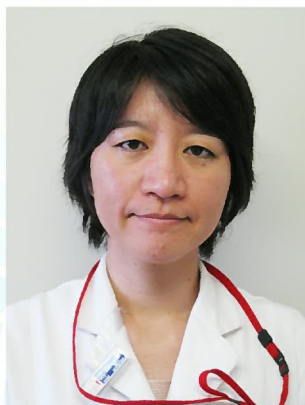
**★頭痛にお困りの方や、ご家族に脳卒中の既往症があつてご心配な方など、お気軽に当院脳神経外科外来までご相談ください。**

## 常勤医師



さだひろ ひろかず  
**貞廣 浩和**

山口大学2005年卒  
●日本脳卒中学会専門医  
●日本脳神経超音波学会  
脳神経超音波検査士  
●日本脳神経外科学会専門医



よしの ひろこ  
**吉野 弘子**

山口大学2007年卒



すぎもと かずたか  
**杉本 至健**

山口大学2010年卒